

「マンガ郷いわて特別賞」の創設及び表彰について

県では、このたび、マンガ制作等の活動を通じて、本県の魅力発信等に貢献した個人等を表彰する「マンガ郷いわて特別賞」を創設するとともに、第1回受賞者として漫画家・松本零士氏を表彰することに決定しましたのでお知らせします。

なお、表彰式は、11月26日（土）14時から「第6回いわてマンガ大賞コンテスト表彰式」に引き続き盛岡地域交流センター（マリオス）で開催します。

1 「マンガ郷いわて特別賞」について

(1) 設置目的

マンガ制作等の活動を通じて、本県の魅力発信等に貢献した個人等を表彰し、その事績を広く紹介することにより、「いわてマンガプロジェクト」の推進を図るとともに、マンガに携わる者が本県の豊かな地域資源や人材などを生かし活躍できる「マンガ郷いわて」の実現を図ること。

(2) 表彰対象

マンガやイラスト等の企画、制作、広報等の活動を通じて、次のいずれかに貢献し、表彰することが適当と認められる個人、団体、作品等。

- ア 本県の魅力発信に関すること
- イ 本県の文化芸術振興に関すること
- ウ 本県の東日本大震災津波からの復興に関すること
- エ その他マンガ郷いわての実現に関すること

2 第1回受賞者について

まつもと れいじ
松本 零士（78歳、漫画家）

(1) 表彰理由

- ア 松本氏の代表作「銀河鉄道999」は、宇宙への旅や生と死など宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の世界に通じるものがあり、「銀河鉄道999」をきっかけに宮沢賢治に関心を抱く読者を生み出す一方で、宮沢賢治生誕120年を迎えた本年、生誕の地・岩手において展覧会が行われるなど、岩手の魅力発信に多大なる貢献をしたこと。
- イ 釜石線全線開通50周年記念イベント（銀河ドリームライン新世紀創造の物語開幕前夜祭）への出演（平成12年）や、「銀河連邦」構成市町であり東日本大震災津波の被災地である大船渡市への『銀河鉄道999』原画の寄贈（平成24年）などを通じ、岩手の魅力発信や被災地の復興に貢献したこと。

（次頁に続く）

(2) 略 歴

- ・ 昭和13年（1938年）1月25日、福岡県久留米市生まれ。東京都練馬区在住。本名、松本 晟（まつもと・あきら）。
- ・ 昭和29年（1954年）、福岡県立小倉南高校1年生の時の投稿作「蜂蜜の冒険」が『漫画少年』第1回新人王受賞作として同誌に掲載され、漫画家デビュー。高校卒業後の昭和32年（1957年）に上京し少女漫画家として出発。その後、昭和35年（1960年）前後から少年誌、青年誌にも進出。
- ・ 昭和47年（1972年）、「男おいどん」で第3回講談社出版文化賞受賞。代表作は他に「銀河鉄道999」「宇宙海賊キャプテンハーロック」など。アニメ製作にも積極的にに関わり、1970年代半ばから1980年代にかけては松本アニメブームを巻き起こした。
- ・ 宝塚大学教授、京都産業大学客員教授、デジタルハリウッド大学特任教授を歴任。
- ・ 平成13年（2001年）、紫綬褒章受章。平成22年（2010年）、旭日小綬章受章。平成24年（2012年）、フランス芸術文化勲章シュバリエ受章。

(3) 選考方法

マンガを始めとする文化芸術についての知見を有する専門家及び学識経験者で構成する「マンガ郷いわて特別賞表彰選考委員会」（委員長：菅野 洋樹 公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長、委員数：5名）での審議を経て決定。

3 表彰式について

(1) 日 時

平成28年11月26日（土） 14時から

(2) 場 所

盛岡地域交流センター（マリオス） 4階アトリウム

(3) その他

当日、同会場で行われる「第6回いわてマンガ大賞コンテスト表彰式」に引き続き開催します。